



～日行連北山孝次会長が来道～

10月16日、ホテルねむろ海陽亭にて平成22年度 道東四支部研修会が開催されました。

今回の研修には日行連北山孝次会長、北海道会加藤隆夫会長、(有)全行団 大森いづみ統括マネージャーも参加されました。

根室支部平賀会員の司会のもと井上章二根室支部長、加藤隆夫北海道会会長、北山孝次日行連会長らの挨拶の後、バスに乗り納沙布岬へ移動。往復の車中では(社)千島歯舞諸島居住者連盟理事、(社)千島歯舞諸島居住者連盟根室支部支部長で歯舞群島・多楽島出身の、河田弘登志氏が戦前の島での生活の様子や、戦後ソ連軍が島に入ってきたときの様子を語って下さいました。

納沙布岬到着後も、河田氏のガイドで北方領土返還祈念シンボルの「四島のかけ橋」、北方領土に関する歴史的資料や、北方領土に生息する動物の剥製等が展示されている「北方館」を見学しました。納沙布岬から眼前に見えた漁船がロシアのもので、日本の漁船が日本のすぐそばで操業できないことを目の当たりにし、参加者は改めて北方領土問題が、地域住民の生活に密着していることを実感されたようでした。ホテルに戻ってからは北山日行連会長の講話・座談会が開催されました。参加者は、北海道会会員ではめったに直接聞くことができない日行連会長の話しということもあって、会長の日行連での具体的な活動や会に対する想いについてなど、熱心に耳を傾けていました。



井上支部長、北山会長、加藤会長



左から：河田氏、加藤会長、北山会長

その後の懇親会では、様々な余興があり、美人ダンサー(?)のパフォーマンスや「シ(さんずい)」を使った漢字を自分でマス目に入れて行われた一風変わったビンゴゲーム(これが難しい!)、じゃんけん大会などで大いに盛り上がりました。

一日を通し、根室支部のみなさんの団結力、温かいおもてなしを感じる、おおいに盛り上がった道東四支部研修会でした。

なお、来年の道東四支部研修会は釧路支部の担当で開催されます。

根室ミニコラム・1

サンマ水揚げ日本一、日本一早い日の出など、「日本一」や「最東端の～」で選ばれることの多い街、根室。



オリエンタルライス

そんな根室の名物グルメといえばエスカロップです。バターライスにデミグラスソースのかかったカツというボリュームたっぷりのメニューです。

オリエンタルライスも根室限定の隠れたグルメです。

根室市内ではロシア語の表記をよく見かけます。北方領土問題はもちろん、漁業や貿易の問題など切っても切れない、根室とロシアの複雑な関係を感じます。



エスカロップ

北山会長の講話（要約）

1. 職域の充実について

日行連 においては、法改正に伴う外向きの業務開拓だけでなく本来の職域である専管業務（農地転用・官民境界の確定など）の充実を図っております。

本年度は、広報・監察活動として、そのための監察活動を強化しています。農地転用における行政書士の申請数、本人申請数、他土業の申請数を調査するよう単位会に発信しています。

仕事の少ない新入会員のためにも、行政書士会として他土業や他団体の申請数が多い、行政書士の専管業務を取り戻すための努力が必要だと思っております。



日行連 北山会長

2. 行政書士試験について

今年の試験の申込者数は昨年より5～6パーセント多く、9万人近くになっていて、行政書士の人気はますます高くなっています。

6号会員、他土業の資格による無試験での行政書士資格の取得については疑問が残るものの、基本的には行政書士の数はもっと増えていいと思っております。

数は力です。我々、行政書士は10万人ぐらいいてもいいのではないのでしょうか。

3. 会長に立候補した理由

大阪会で29年間、受託していた建設業の経営事項審査が一般入札制度に変わり、大阪会は入札に参加することができず排除されました。

そのことがあり、行政書士会が入札に参加し、業務受託ができるように法改正を目指す、ということ掲げて会長に立候補しました。

会長就任後、総務省と交渉し、総務省からは行政書士会が官公庁から一定の条件の下で業務受託ができるという見解を頂きました。

各単位会で業務受託ができるように会則改正の手続きが進んでいます。

4. 成年後見制度について

神奈川会のNPO法人の活動が進んでいます。

「市長申立て」に必要な親族関係調査について、各市町村からの受託が進むよう努力しています。

これが進むと、成年後見人の指定についても行政書士が活躍できる場として期待ができます。

5. 登記事務の地方行政への移管に賛成

法務局の登記事務を地方の都道府県・市町村に下ろそうという動きがあります。

登記事務が行政庁に移れば、行政書士の業務になる可能性があります。



6. 行政書士制度の充実

入会前研修の実施、行政書士試験の科目の見直しを検討します。

具体的には商業登記法を加えることや平成18年から試験科目から外れた行政書士法を再び科目に加えることなどです。

OSSについてですが、平成24年度には新車の登録だけではなく、中古車の登録にも広がろうとしています。

行政書士法第19条但書に規定する「総務省令で定める者」に中販連等の自動車関係団体が指定されることに、行政書士会として絶対に阻止しなければならないと思っております。

一旦、中販連等の他団体の参入が認められると、建設業や運送業についても同じように行政書士の職域に参入されてしまうことになる可能性がありますので、これは全会員一丸となって阻止しなければなりません。

また、司法書士会が登記に付随するものかどうかに関わらず、権利義務の書類の作成についても司法書士の業務として明確化しようと今年の日司連の総会で決議しています。

これについても阻止しなければなりません。



北方領土返還の署名をする北山会長



根室ミニコラム・2

『根室十景』

今回、研修で訪れた納沙布岬は昭和54年8月に市民アンケートをもとに「根室十景」のひとつに選ばれています。



他には長節湖、風蓮湖、浜松海岸、車石、北方原生花園、明治公園、落石岬、温根沼、春国岱が選ばれています。



道東四支部研修会の感想



納沙布岬・北方領土を見学

北海道行政書士会、道東四支部研修会にお招き頂きましてありがとうございます。

北方領土を見て、改めて日本のすぐ近くでありながら日本人が自由に行けず、また漁業に関してもかなり制限された中で操業されているということを目の当たりに見ると、一刻も早く返還を果たして頂きたいと強く思いました。日本行政書士会連合会としても、北方領土の返還運動に何らかの形で関わりたいと思えました。

また今回、道東を訪れて北海道の広さを実感いたしました。環境としては厳しいものがあるかと思いますが、各地域で会員のみなさんがひとりひとり、行政書士業務を営まれているのは行政書士会の強みですし、力強く感じました。

日本行政書士会連合会 会長 北山孝次

日本行政書士会連合会では、社団法人コスモス成年後見センターを設立し、全国組織として成年後見業務に取り組む方針です。高齢化社会を向かえ、ますます行政書士が国民に浸透しなければならない中、弁護士・司法書士に比べても会員数が多く、どのような地域でも行政書士が仕事をしているというのは本当に強みになります。

今回はこのような機会を設けて頂きまして、ありがとうございました。



北方館2階から北方領土を望遠鏡で望む

北方領土ミニコラム

よく我々が口にする「北方領土」とは、狭義の「北方領土」を指し「北方四島」の事を言い、それぞれ「択捉島」「国後島」「色丹島」「歯舞諸島」の事を指しています。広義の「北方領土」では、前記に加え、千島列島(得撫島以北占守島まで)南樺太を含むものとされているそうです。



「北方四島」の総面積は、約5,036km²になり北海道の総面積約83,456km²の16分の1にもなり、千葉県や福岡県と同じくらいの面積になります。

今回の道東四支部研修 担当支部 井上支部長に取材

井上章二 根室支部長

- ・生年月日：昭和5年3月7日
- ・登録年月日：昭和41年2月14日
- ・出身は三重県名張市。昭和28年に北海道へ。
- ・事務所は中標津町、自宅は羅臼。毎日70キロを自分で運転して通勤。



編集委員：今回の道東四支部研修は、北方領土問題について取り上げましたが、このテーマにした理由をお聞かせください。

井上支部長：北方領土は父祖伝来の地であり、一度も他国の領土となった事がなく、我が国固有の領土です。1956年日ソ共同宣言が署名され、国交が再開されてから54年が経過したが返還の見通しすらたっていません。北方領土問題は国民一人一人が正しく理解し世論を盛り上げたいと思います。行政書士会の皆様にも、現状を知っていただき地域住民と一体になり運動に参加することが大事であると考え、先ず道東四支部の皆様に関心を持ち、返還要求運動が進められ、運動の輪が広がる事を願うと共に地域住民と協働し頼られる行政書士として、返還運動に取り組みたいと思いテーマとしました。



間近に見えるロシア漁船

編集委員：日行連の北山孝次会長が招いたのには、どのような意図があったのでしょうか。

井上支部長：対外広報の一環として、地域住民と協働して返還運動に取り組むためには、先ず北山孝次日行連会長に現地の状況（歯舞諸島と納沙布の中間ラインは1,350メートル、ロシア漁民がウニ採りしているのが肉眼でも見えるくらいの距離）を具に見ていただき、全国の行政書士の皆様方にも、各種の返還啓発活動にも参加し推進され、国民世論の結集を図り、北方領土問題を早期に解決する外交交渉を支援することが大切であり、行政書士も皆と共に頑張りたいとの意図でした。
尚、北山日行連会長招聘について、加藤北海道会会長の御尽力に感謝申し上げます。

編集委員：研修会は、内容的に北方領土問題についての知識を深める事のできる素晴らしい研修会でしたし、懇親会も工夫を凝らして参加会員が楽しむ事のできるものだったと思いますが、準備段階で根室支部の皆さんは、どのような事についてご苦労なされたのですか。

井上支部長：参加下さる皆様との絆を深める為には、先ず和が大切であり、楽しい研修会になる様手作りの工夫をこらし、みんなが楽しみの輪に入



美人ダンサー

れる様考えた。

研修会と同じ食事や障がい者も参加できる施設、移動の時間等の点検を行った。土産品等は予算が余り無いので、各事業所等に願って調達、食事の方を考慮した。

編集委員：今後、道東四支部研修会を通じて参加する四支部にどのような事を期待しますか。

井上支部長：多くの方が参加し共に歩み、共に考え、共に行動が出来、研修が身近なものとなればよいと思います。

編集委員：本研修の内容とは少しずれますが、本会会館が本年度誕生しましたが、遠方の支部からみて会館の必要性をどのように考えておられますか。また、本会会館について必要だと考えるものはありますか。

井上支部長：行政書士の皆様の拠り処として誕生したので、おらが会館として皆でより良き活用の場として、遠近に拘らず利用される事を願っています。皆が集う場所が出来た事は大変心強く感じると共に、会員の団結と、絆を大切にこの基地から飛び立って戴きたいと思います。

編集委員：井上支部長どうもありがとうございました。また今回研修担当の根室支部の皆様、大変お疲れさまでした。



河村香釧路支部長



吉村学十勝支部長

根室支部の広報活動

根室支部では支部独自の広報活動として、根室支管内1市4町に通じる道路沿い(5カ所)に看板を立てています。

黄色地の看板で「行政書士へ」の大きな文字は青、その他の文字は黒です。

冬場の雪景色の中でも目立ちそうです。

